

(露地・雨除け) サクランボ特報No.5

平成27年5月22日

JA中野市営農センター

JA中野市サクランボ部会

摘果、新梢管理等遅れている園もありますので適期作業に努めて下さい。尚、結実不良の樹でも、新梢管理は実施しましょう。

今後は降雨からの灰星病が心配されますので、晩生種の防除も徹底して下さい。

隣接園（特に収穫期の作物等）に飛散しないよう注意して下さい。
【収穫前最終防除】

・散布日 月 日 ・散布量 0

*散布時期 5月下旬～6月初旬（着色前）（5月26日～6月1日頃）

*散布薬剤（水100ℓ当り）

・フルーツセイバー 66ml（前日、3回）

・ディアナWDG 10g（前日、2回）

*対象病害虫：灰星病・炭そ病・幼果菌核病・オウトウショウジョウバエ・ハマキムシ類

*散布量：10a当り SS500ℓ 動噴600ℓ

*注意事項 ー 散布の際は果実汚染、裂果に注意する。

・展着剤は加用しない

・オウトウショウジョウバエ、カメムシ類（スリップス類）の発生がある場合は、アルバリン顆粒水溶剤2000倍（前日、2回）を散布する。（果実汚染注意する。）

・フルーツセイバーに代えてアミスター10フロアブル1000倍（前日、3回）でもよい

・ディアナWDGに代えてアーデントフロアブル2000倍（前日、3回）でもよい

「晩生種特別散布」 6月中旬

灰星病・ショウジョウバエ類の発生する園は、

・オーシャインフロアブル3000倍（前日、5回）

・アーデントフロアブル2000倍（前日、3回）を散布する。

◎管理作業

*新梢管理（主幹形）・・・4～5芽程度か基芽を残して新梢を摘芯する。（早急に）

*誘引・・・徒長枝になりそうな強い新梢は誘引し花芽着生を促す。また、この時期は枝も柔らかく折れにくいので、主枝・側枝も実施。

*灌水・・・黄化期までは、定期的な灌水を実施する。

*着色管理

●葉摘み・・・収穫予定7～10日前頃から果実に直接かぶさる葉を摘む。摘み過ぎに注意。

●反射マルチ・・・タイベック、パールライトなど

●雨よけ施設の被覆・・・5月25日頃から